

# 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 井上満郎

### 2 所在地

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1

### 3 電話番号

075-415-0521

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

### 5 設立年月日

昭和 51 年 10 月 26 日

### 6 基本財産

932,366 千円（うち本市出えん額 932,366 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都市内の埋蔵文化財をはじめ，史跡，名勝等の文化財の調査，研究，保護及びその調査成果の公開，活用を行うとともに，文化財及び関連する施設等の管理を行うことにより，学術・文化の振興や地域社会の健全な発展等に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 埋蔵文化財及び史跡，名勝等の文化財の調査，研究及び保護に関する事業
- (2) 埋蔵文化財及び史跡，名勝等の文化財の活用及び保護意識の普及啓発に関する事業
- (3) 文化財及び文化財に関わる京都市から指定管理者の指定等を受けた施設の管理運営
- (4) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課（TEL075-366-1498）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

井上満郎

#### (2) 専務理事

中村好宏（文化市民局文化芸術都市推進室担当部長）

#### (3) 理事

五十川伸矢，岩崎奈緒子，小椋純一，神山俊昭，鋤柄俊夫，伊達仁美，玉置泰紀，西山良平，三田真史

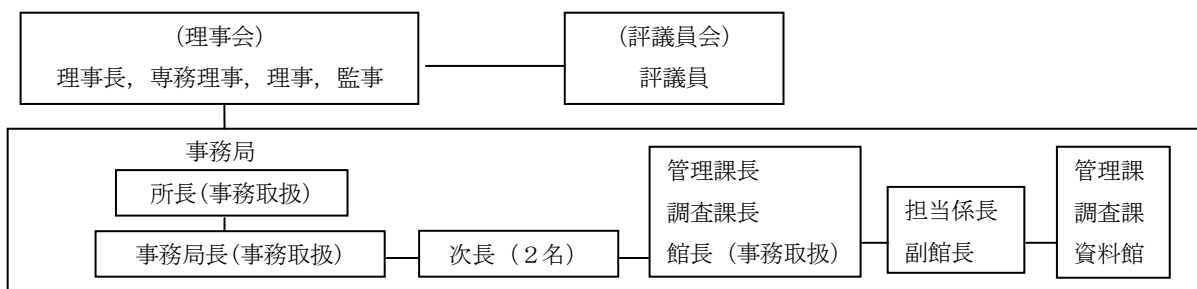
#### (4) 監事

廣瀬伸彦，土橋聡憲（文化市民局文化芸術都市推進室文化財担当部長）

### 11 常勤職員数

34 人（うち本市派遣職員 0 人）

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成28年度決算

#### (1) 事業報告

- ア 理事会及び評議員会の開催
- イ 発掘調査, 考古学的調査, 調査支援及び測量・保存処理・写真撮影等の実施
- ウ 京都市受託事業
  - (ア) 出土遺物の保管管理及び出土遺物の整理事業
  - (イ) 埋蔵文化財出土遺物指定準備事業
  - (ウ) 埋蔵文化財普及啓発事業
  - (エ) 史跡名勝等管理委託事業
  - (オ) 京都市考古資料館指定管理の受託
- エ 埋蔵文化財調査報告書の刊行
- オ 講演会・イベントの開催
  - (ア) やましな古代体験教室(山科区役所委託事業)
  - (イ) 子ども歴史体験(伏見区役所委託事業)
  - (ウ) 歴史体験イベント 一条戻橋と古代の祭祀
  - (エ) 研究所設立40周年記念講演会「御土居の実像―豊臣から徳川へ―」
- カ 現地説明会・現地公開・現場見学会の開催
- キ 「リーフレット京都」(No.327～No.338)の発行
- ク 全国埋蔵文化財法人連絡協議会への参加
- ケ その他研究会等への派遣
- コ 講師等の派遣
- サ 出前授業等
- シ インターネット(ホームページ・フェイスブック)による情報発信・開示
- ス 職員研修の推進等
- セ 京都市考古資料館事業
  - (ア) 特別展示の実施
    - a 「京を発掘! 出土品から見た歴史」(平成28年1月30日～6月19日)
    - b 「世界遺産を掘る!」(平成28年7月9日～11月27日)
    - c 「伏見城と淀城」(平成29年2月18日～6月25日)
  - (イ) 合同企画展の実施
    - 龍谷大学附属平安高等学校・中学校との合同企画展「HEIAN 掘る!」  
(平成28年12月13日～29年1月29日)
  - (ウ) 速報展・企画陳列の実施
  - (エ) 常設展示解説シートの多言語化
  - (オ) 外部施設での展示の実施
    - a 市役所本庁舎での考古資料展示
    - b 上京区総合庁舎での考古資料展示
    - c 京都市埋蔵文化財研究所鳥羽事務所での考古資料展示(平成28年4月29日～5月8日)  
※安楽寿院特別公開
    - d 京都市平安京創生館開館10周年特別展「よみがえる古代京都の風景―遺跡復元鳥瞰図の世界―」での考古資料展示(平成28年5月23日～29年6月3日)
    - e 京都市歴史資料館特別展「よみがえる伏見城」での考古資料展示(平成28年5月28日～8月30日)
    - f 第14回西陣・千両ヶ辻伝統文化祭での講演会の開催(平成28年9月23日)
    - g 「発掘調査成果写真展2016」での考古資料展示(平成29年3月18日～5月8日)

- (カ) 小・中学生夏期教室の開催
- (キ) 文化財講座の開催
- (ク) 情報コーナーにおける普及啓発  
1階情報コーナーにおいて、展示案内チラシやポスターを配布・掲示している。また展示内容に合わせてDVDの上映などを行うほか、各種参考資料を整備し、利用に供している。
- (ケ) 考古資料の貸出し
- (コ) 博物館学芸員課程実習生の受入れ
- (カ) 京都市立中・総合支援学校「生き方探究・チャレンジ体験」の受入れ
- (シ) 教育機関の学外授業等の受入れ
- (ス) 関係機関等の受入れ
- (セ) 取材対応
- (ソ) 博物館団体等連携事業  
第15回国際博物館の日、第14回関西文化の日、関西考古学の日スタンプラリー、第22回京都ミュージアムロード等に参加した。
- (タ) 他の関係機関との連携事業及びその他関係機関への協力等
- (チ) ボランティア研修事業

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成29年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	182,395	233,233	△50,838
未収金	339,033	234,183	104,850
仮払金	0	2,690	△2,690
流動資産合計	[521,428]	[470,106]	[51,322]
2. 固定資産			
(基本財産)			
土地	922,366	922,366	0
基本財産引当預金	10,000	10,000	0
基本財産合計	(932,366)	(932,366)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当預金	110,000	110,000	0
特定資産合計	(110,000)	(110,000)	(0)
(その他固定資産)			
建物	33,914	33,914	0
建物附属設備	3,965	3,965	0
構築物	552	552	0
什器備品	47,031	44,373	2,658
減価償却累計額	△58,891	△57,843	△1,049
電話加入権	354	354	0
その他固定資産合計	(26,924)	(25,315)	(1,609)
固定資産合計	[1,069,290]	[1,067,681]	[1,609]
資産合計	1,590,718	1,537,787	52,931
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	122,903	43,196	79,706
預り金	1,027	1,227	△200
仮受金	7,252	77,529	△70,276
未払消費税等	13,653	9,095	4,559
流動負債合計	[144,835]	[131,046]	[13,789]
2. 固定負債			
長期借入金	650,000	650,000	0
退職給付引当金	272,021	245,128	26,893
固定負債合計	[922,021]	[895,128]	[26,893]
負債合計	1,066,857	1,026,175	40,682
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[932,366]	[932,366]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(932,366)	(932,366)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[△408,505]	[△420,754]	[12,249]
正味財産合計	523,861	511,612	12,249
負債及び正味財産合計	1,590,718	1,537,787	52,931

## 正味財産増減計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1	4	△3
特定資産運用益	35	55	△20
事業収益	896,158	735,044	161,114
受取寄附金	186	216	△30
雑収益	1,155	1,125	29
経常収益計	897,535	736,444	161,091
(2) 経常費用			
事業費	738,422	641,024	97,398
管理費	61,843	60,986	857
経常費用計	800,265	702,010	98,255
当期経常増減額	97,270	34,434	62,836
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	21	0	21
退職給付費用（過年度）	85,000	85,000	0
経常外費用計	85,021	85,000	21
当期経常外増減額	△85,021	△85,000	△21
当期一般正味財産増減額	12,249	△50,566	62,815
一般正味財産期首残高	△420,754	△370,188	△50,566
一般正味財産期末残高	△408,505	△420,754	12,249
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	932,366	0
指定正味財産期末残高	932,366	932,366	0
III. 正味財産期末残高	523,861	511,612	12,249

## 2 平成 29 年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 埋蔵文化財の発掘調査及び資料整理

- (ア) 埋蔵文化財の発掘調査の計画及びその施行
- (イ) 史跡名勝の復原整備に伴う調査, 研究
- (ウ) 出土遺構, 出土遺物等の調査, 研究, 整備及び保存
- (エ) 文献資料図書の整備及び研究

#### イ 埋蔵文化財に関する出版物の刊行及び配布

- (ア) 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行及び配布
- (イ) 埋蔵文化財に関する研究報告書の作成及び配布

#### ウ 埋蔵文化財に関する技術の研究及び技術者の養成

- (ア) 埋蔵文化財の調査技術及び出土品の保存技術に関する研究
- (イ) 発掘調査技術者の養成
- (ウ) 編集技術の研究, 修得

#### エ 埋蔵文化財に関する普及啓発

- (ア) 発掘調査現地説明会, 現地公開, 見学会の開催
- (イ) 啓発冊子等の刊行, 配布
- (ウ) 写真展の開催
- (エ) 京都市内の小中学校総合学習や地域活動への協力 (出前授業)
- (オ) ホームページ, Facebook 等による情報発信
- (カ) 埋蔵文化財に関する各種講演会, 研究会等への講師派遣協力

#### オ 埋蔵文化財に関する関係機関との連携

- (ア) 関係行政機関, 全国埋蔵文化財法人連絡協議会, 研究機関との連携
- (イ) 開発行為者との連絡調整

#### カ 埋蔵文化財出土遺物の保管, 管理及び整理 (京都市から受託)

- (ア) 出土遺物の保管, 管理業務
- (イ) 出土遺物の整理業務
- (ウ) 埋蔵文化財出土遺物の文化財指定準備業務

#### キ 史跡・名勝・天然記念物・建造物の管理事業 (京都市から受託)

史跡・名勝・天然記念物の巡回管理, 及び各地元保存団体と連携した定期的な整備 (24 箇所)  
名勝雙ヶ岡, 史跡天皇の杜古墳, 史跡醍醐寺境内 (栢杜遺跡), 天然記念物深泥池生物群集,  
史跡御土居 (7 箇所), 史跡方広寺石塔, 史跡鳥羽殿跡, 史跡栗栖野瓦窯跡, 史跡平安宮跡 (内  
裏跡, 豊楽院跡), 史跡檜原廢寺跡, 史跡蛇塚古墳, 史跡西寺跡, 史跡天塚古墳, 史跡山科本  
願寺南殿跡, 京都市指定史跡上中城址, 京都市指定史跡大枝山古墳群, 京都市登録史跡福西遺  
跡公園, 京都市登録建造物島原大門

#### ク 調査作業業務受託事業

発掘調査以外 (保存処理・写真撮影・測量など) の受託事業の拡充

#### ケ 普及啓発事業

- (ア) 文化財講演会の開催 (11 月)
- (イ) 史跡ウォーク 3 回予定 (西陣歴史のまち協議会と共催)
- (ウ) 「関西考古学の日」への参加 (7 月～11 月)

#### コ 財務状況のインターネットによる開示

定款・事業実績概要・収支決算・事業計画・収支予算・役員名簿など

#### サ 京都市考古資料館の管理運営事業 (指定管理者)

- (ア) 考古資料の展示及び特別展等の開催
  - a 常設展示
  - b 平成 28 年度後期特別展示「伏見城と淀城」(6 月 25 日まで)

- c 平成 29 年度特別展示「極楽浄土への想いー鳥羽法皇と鳥羽離宮金剛心院ー」（7 月 15 日から 11 月 26 日まで）
  - d 合同企画展(12 月中旬から 1 月中旬まで)
  - e 平成 29 年度後期特別展示「未定」（京都大学文化財総合研究センターとの連携企画）（2 月上旬から 6 月中旬まで）
  - f 企画陳列
- (イ) 考古資料に関する普及啓発事業の実施
- a 小・中学生夏期教室の開催（8 月）
  - b 京都市考古資料館文化財講座（京都学講座）の開催（年 10 回実施）
  - c 考古資料の貸出し
  - d 博物館学芸員実習の受入れ
  - e 京都市立中学校・総合支援学校「生き方探究・チャレンジ体験」事業の受入れ
  - f 修学旅行生「発掘体験」事業
  - g 教育機関の学外授業等の受入れ
  - h 生涯学習グループなどの見学受入れ及び解説
  - i 考古資料館展示解説ボランティアの育成
- (ウ) 考古資料に関する関係機関との連携強化
- 加盟している京都市博物館施設連絡協議会等へ引き続き参加し、博物館運営の情報収集に努めるほか、京都市教育委員会の学校教育や生涯学習等の関係機関と連携、協力

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4	4	0
特定資産運用益	100	100	0
事業収益	686,372	876,772	△190,400
受取寄附金	655	655	0
雑収益	1,990	3,052	△1,062
経常収益計	689,121	880,583	△191,462
(2) 経常費用			
事業費	624,548	795,380	△170,832
管理費	66,073	85,203	△19,130
経常費用計	690,621	880,583	△189,962
当期経常増減額	△1,500	0	△1,500
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
退職給付費用（過年度）	0	85,000	△85,000
経常外費用計	0	85,000	△85,000
当期経常外増減額	0	△85,000	85,000
当期一般正味財産増減額	△1,500	△85,000	83,500
一般正味財産期首残高	△505,754	△455,188	△50,566
一般正味財産期末残高	△507,254	△540,188	32,934
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	932,366	0
指定正味財産期末残高	932,366	932,366	0
III. 正味財産期末残高	425,112	392,178	32,934



## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	559,771	736,444	897,535	689,121
	当期経常増減額	21,627	34,434	97,270	△1,500
	当期正味財産増減額	△63,373	△50,566	12,249	△1,500
貸借対照表	総資産	1,435,879	1,537,787	1,590,718	
	総負債	873,701	1,026,175	1,066,857	
	正味財産	562,178	511,612	523,861	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
委託料	京都市考古資料館管理運営委託 (指定管理)	25,899	25,899	25,899	25,899
	埋蔵文化財の調査委託	177,563	314,577	656,640	
	出土遺物文化財指定準備	30,000	30,000	30,000	
	遺物保管委託	69,485	69,485	69,485	
	出土遺物整理	20,000	20,000	20,000	
	埋蔵文化財普及啓発委託	1,337	1,337	833	
	史跡名勝等の管理委託		51,274	34,665	
	考古資料館 100 周年事業		2,690		
貸付金	つなぎ資金のための短期貸付金				50,000
	長期貸付金 (累計残高)	650,000	650,000	650,000	650,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>当期経常増減額では平成25年度以降4期連続の黒字となった。一方、当期正味財産増減額では、過去5年間にわたる経常外費用への過年度分退職給付費用計上により4期続けての赤字となっていたが、平成28年度は黒字となった点は評価できる。</li><li>また、平成27年度以降は、平成22年度から実施してきた本市からの長期貸付を実行せずに運営しており、経営努力には一定の成果が見える。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>本市において、発掘調査を行うためには、地域の歴史や各時代の土層、遺物に関する専門的な知識と経験に基づく高水準の調査技術が必要である。</li><li>当財団は、設立以来、それらを蓄積、維持し、公共事業をはじめとする本市におけるほとんどの発掘調査を受託し、適切に実施している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>過年度分退職給付費用を計上する中、経費節減等により、5期ぶりに当期正味財産増減額が黒字化したことは評価できる。</li><li>依然として多額の累積欠損金を抱える中、平成30年度から開始する本市からの長期借入金の返済に備えて、引き続き経営改善を進める必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>主要事業である発掘調査の需要は景気動向等により大きく変動するため、組織や人員体制については、財務状況や将来の経営見通しを十分に踏まえ、慎重に検討し、発掘調査収入の変化に柔軟に対処できる組織・人員体制を構築する必要がある。</li><li>また、景気動向等に左右される発掘調査事業収入以外の収入源を確保し、経営の安定化を図ってほしい。</li></ul>